

関西女子学生バスケットボール連盟 2022年度 第3回 理事会 議事録

日時 : 2022年5月28日 19:00~

場所 : ZOOMによる遠隔操作

出席者

[理事] 丸岡信吾、荒木初広、西川幸穂、古本ルミ、石橋將広、柳生志乃、坂井和明、玉井里英、山本孝、市谷浩一郎、岸本里紗、村田尚美、頼富未喜、村上なおみ、佐藤亜紀子、小林未季代、早川亮馬、白井徹、東亜弓、玉城耕二、大畠昌己、今西正泰、玉城耕二、岩村裕美

[学生委員] 山下果歩、前川由衣、本庄由依、金崎睦、神田百代
多久島愛梨 奈良井愛水、門脇早希、船田理紗子
永吉芽衣、高田奈々、足立奈月、島美悠、鶴田彩海
山路佳奈、秋岡茉菜、大久保結子、堀川紅葵

書記 : 秋岡茉菜

古本総務部長から、出席状況の確認を行い、連盟規約の要件を満たしており、本日の会議は成立することの報告があった。丸岡理事長を議長として議事遂行することとした。

〈審議事項〉

1. 2022年度全関西女子バスケットボール選手権大会後の対応について

(1)棄権チームへの返金について

荒木財務部長より、新型コロナウイルスの影響により棄権したチームに限り全関西参加費の中の一部を返金すると提案された。試合が全く出来ず棄権したチームには2万円、1試合のみ出場し棄権した大学には1万円返金することとなった。

(2)感染防止対策の課題について

荒木副理事長、西川副理事長より、資料1に基づき説明があった。受付にて発熱者がいた場合の対応、また「発熱者」といわれる基準が関西女子学連では

あいまいな為考える必要があると報告された。また、全関西の課題として何かあったときすぐに連絡が取れるよう、各チームの代表者の連絡先を把握しておくこと、ガイドラインに基づき発熱者が出た場合の試合の有無に関してルールを固め当該チームと相談しつつ学連が決断できるようにすることが大切と確認され、今後の大会運営に反映させていくこととした。

(3) その他

特になし。

〈報告事項〉

1. 2022年度前関西女子バスケットボール選手権大会の振り返り

(1) 全体-コロナ感染の影響、父母観戦の状況、理事の役割分担（出務）など

古本部長より口頭で報告された。コロナ前の大会に近い運営を行うこととし、今年度初めて経験する学連員が多い中で開幕をすることとなつたが、最後まで完遂し大会として成り立たせることができた。理事の方々の積極的なかかわりが得られたこと、学生も感染拡大防止と大会運営の両立に力を尽くしたこと、そして理事の方々と学生との関係についての新たなあり方も見えてきたのではないかと感じられる。競技部に提案された新しい競技方法であるグループプリング方式の導入は、各方面から大変好評であったことを確認した。

(2) 各部報告

総務部（山下学生委員長）

資料に基づいて説明があった。会場へ入館する際の二週間分の健康チェックシートを提出されていない事態があり、事前の周知のミスがあった。改善点として、学連員が確認し、エントリーの際に健康チェックシートについて提出するように伝える。また、ベンチにおいて選手や監督のほうで一部マスクを外したり、ずらしたりしているのが確認された。改善点として、代表者会議において改めて注意を徹底し、監督やコーチに対しては理事の方にご協力をお願いするなどで対応する。ハーフタイムショーや出店については中止とした。

広報渉外部（神田広報渉外部学生委員）

資料に基づいて説明があった。反省点として、ベスト8の試合からYouTubeのライブ配信を実施した際、機材トラブルにより配信の状態が不安定になり、試合の途中でとぎれてしまうことが生じた。配信が途切れている間、インスタライブを使用するなど柔軟に対応した。Wi-Fi 設定の変更などにより、すでにトラブルについて改善済み。学連員の知識を超えていて対応できなかつたところは業者に相談することで改善につなげる。ホームページの更新作業や理事の方への結果送信を以前よりスムーズにすることができた。

競技部（前川競技部学生委員）

資料参照。グループリーグを初めて導入し、参加チームに多くの試合数を確保できた。グループリーグのあたり順について大学から指摘を受けた。一定のルールにのっとり、ベスト 16 を基準としてトーナメント番号順にタイムスケジュールを作成した。来年もこの形で続けていく方針である。T0 の正式な人数の認識が学連員の中で異なっていた。T0 の人数に関しては、今後は実働の 6 人とコミッショナー含めた 7 名で統一する。

審判部（奈良井審判部学生委員）

資料参照。審判料の変更が生じ、若干の混乱があった。

財務部（門脇財務部学生委員）

資料参照。財務に関する報告が滞りがちであったので今後は報告を徹底していく。オリジナルTシャツの申込用紙を fax にしていたが、文字がつぶれて住所、宛先、宛名を特定するのに時間を要した。fax と Google フォームの二重にすることで効率的に集約して集計ミスがおこらないようにする。大会の補食費について、学生の負担の状況を考慮し、以前までは千円だったものを二千円にすることを提案し、了承された。

2. 2022 年度西日本学生バスケットボール選手権大会の準備状況

丸岡理事長より報告された。

日程：6月 6 日～6月 12 日

女子 6 日～9 日 中央体育館（丸善インテックアリーナ）

10 日～12 日 府立体育館（エディオンアリーナ）

次回第 4 回準備委員会 5 月 30 日（月）

関西男子代表者会議 5 月 29 日（日）

関西女子代表者会議 6 月 5 日（日）

関西男子代表者会議（地方から来られる方を含める） 6 月 4 日（土）

3. 日学主催の新人戦（プレ大会）の予選会の準備状況

石橋競技部長より報告された。

資料参照。全関西のベスト 8 の結果をもってトーナメントに反映。決勝戦は行わない。推薦順位については全関西の上位チームを第一推薦とする。これをタイムスケジュールに反映し、予選会を実施することを確認した。

4. 学連委員の選出状況について

山下委員長より報告された。神戸学院大学 1 回生が新しく学連に所属した。

このほかチームには所属していないが学連に興味がある学生から連絡を受けている。1部、2部チームでまだ、学連員の選出をしていただいているチームがあるので大会中に相談させていただく。

〈その他〉

1. 次回理事会の日程

7月中下旬を予定

2. スケジュール調整

3. ユニバーシアードが1年延期

1年後中国で開催

選手、スタッフは不明

4. 李相伯の日韓戦は中止することも検討する。

今月末の日学理事会で最終決定

5. Wリーグのサマーキャンプ

古本総務部長によって、本日の会議を終了した。

(以上)